

法人名 (株)清里の森管理公社

株式会社用

【法人の概要】

代表者名	長江良明		所管部(局)課	森林環境部県有林課		
所在地	北杜市高根町清里3545-1		電話番号	0551-48-3151		
ホームページURL	<a href="http://www.kiyosatonomori.co.jp">www.kiyosatonomori.co.jp</a>		E-mailアドレス	<a href="mailto:center@kiyosatonomori.co.jp">center@kiyosatonomori.co.jp</a>		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和60年4月10日		
主な出資者	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		4,500	千円	45.0 %
	2	念場ヶ原山保護財産区		3,000	千円	30.0 %
	3	(株)清里の森管理公社		2,500	千円	25.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)			千円	0.0 %
	その他				千円	0.0 %
合計			10,000	千円	100.0 %	
設立経緯概況等	「清里の森」は、地域の特性を生かした保健休養的で多様な活用を推進することによって、地域の経済的・文化的な振興並びに県有林経営の活性化を図ることを目的とした県有林の高度活用事業のひとつとして山梨県が設置したものであり、別荘地区とテニスコートや芝生広場等センター施設地区からなる保健休養施設である。(株)清里の森管理公社は、この「清里の森」を管理運営し、別荘利用者及び一般来訪者に対し、様々なサービスを提供することにより、同事業の目的に資するため設立された。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H23年度	H24年度	H25年度
事業1 別荘地管理事業(共益費)	別荘地内の道路など、共有部分の維持管理業務	50,770	50,425	50,460
事業2 収益施設運営業務	テニスコート、パークゴルフ場、ディスクゴルフ場、売店、食堂、テナント施設の運営及び別荘入居者への個別サービス、別荘仲介業務	42,361	42,981	41,177
事業3 文化振興・施設管理運営業務(1. 2を除く全て)	文化振興を図るためのコンサートや木工・陶芸教室の開催その他施設管理運営業務	10,467	9,996	8,757

【組織】

年度	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	取締役(理事)(常勤)	1			1	1			1		1			1	
	取締役(理事)(非常勤)	4		2	2	4		2	2		4		2	2	
	監査役(監事)(常勤)	0				0					0				
	監査役(監事)(非常勤)	2			2	2			2		2			2	
	評議員	0				0					0				
計	7	0	2	1	4	7	0	2	1	4	7	0	2	1	4
職員	管理職	2	2			2	2				2	2			
	一般職員	3	3			3	3				3	3			
	臨時職員	0	/	/		0	/	/			0	/	/		
	非常勤職員	1	/	/	1	1	/	/		1	1	/	/		1
計	6	5	0	0	1	6	5	0	0	1	6	5	0	0	1
プロパー職員の年齢構成(H26. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収				
	男性		1		1	2		4	役員勤	※	(千円)※				
	女性				1			1							
	合計	0	1	0	2	2	0	5	職員勤	45	(千円)5,879				

※常勤役員は1名のため、個人情報保護の観点から非公表

## 【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
収 支 状 況	受託事業収入	0	0	0	0
	自主事業収入	103,598	103,402	100,394	△ 3,008
	補助金収入	0	0	0	0
	運用益収入	0	0	0	0
	その他の経常収入	421	1,156	610	△ 546
	経常収入 計	104,019	104,558	101,004	△ 3,554
	人件費	44,186	44,507	43,219	△ 1,288
	その他の経常支出(費用)	59,105	61,862	64,932	3,070
	経常支出(費用) 計	103,291	106,369	108,151	1,782
	経常損益	728	△ 1,811	△ 7,147	△ 5,336
	特別利益(経常外収入)	44	36	40	4
	特別損失(経常外支出)	0	0	0	0
	法人税等	296	73	74	1
	当期損益	476	△ 1,848	△ 7,181	△ 5,333
	前期繰越利益(損失)	34,567	35,043	33,195	△ 1,848
当期末処分利益(損失)	35,043	33,195	26,014	△ 7,181	
次期繰越利益(損失)	35,043	33,195	26,014	△ 7,181	

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
財 務 状 況	流動資産	48,017	45,070	36,951	△ 8,119
	固定資産	19,441	21,073	23,339	2,266
	資産 計	67,458	66,143	60,290	△ 5,853
	流動負債	6,296	6,184	5,365	△ 819
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	12,619	13,264	15,411	2,147
	うち長期借入金		0	0	0
	負債 計	18,915	19,448	20,776	1,328
	資本金	10,000	10,000	10,000	0
	資本剰余金	△ 2,500	△ 2,500	△ 2,500	0
	利益剰余金	41,043	39,195	32,014	△ 7,181
	資本 計	48,543	46,695	39,514	△ 7,181

(単位:千円)

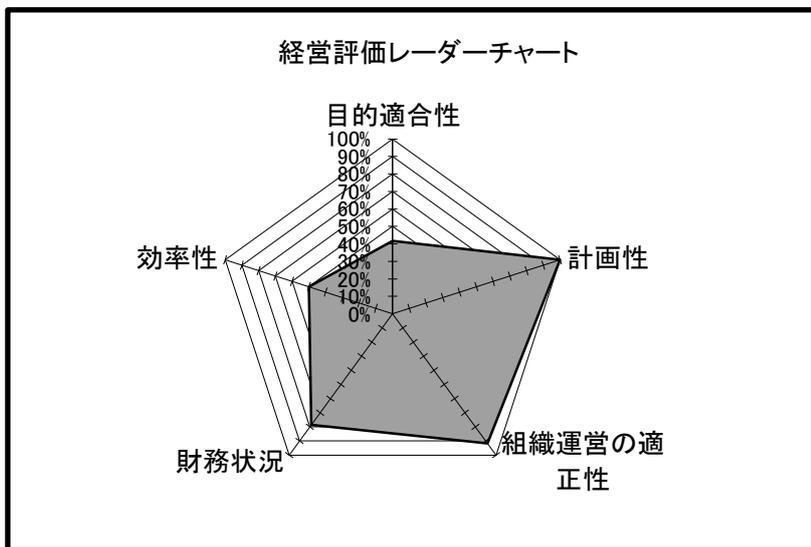
項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
県 の 財 政 的 関 与 の 状 況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	0	0	0	0
	県の財政的関与の割合(%)	0.0	0.0	0.0	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

## 【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	5	41.7%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	11	91.7%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	44	78.6%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	10	50.0%
合計		21	112	82	73.2%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立の目的である県有林高度活用事業の主旨に沿い、概ね適切な事業展開を行っているが、売上総利益における目標値に対する実績値においては、3期連続の100%未満となっている。
計画性	平成23年度を始期とした第2次経営計画(5カ年)に基づく諸施策に取り組み、適宜計画の見直しを行っている。
組織運営の適正性	職員の絶対数が少ないことから、組織運営の評価にかかる制度設計が当社の現況に反映していない面もあるが、外部監査役の設置など適正な組織運営に努めている。
財務状況	借入金も無く財務状況全般として安全性は保たれていると考えるが、利用者の減少による施設利用売上高の減少と今期は大雪に関連する臨時的な経費、電気料金の値上げ等施設の維持管理費が嵩み、前期に続き赤字計上となった。
効率性	効率性の評価にかかる制度設計が必ずしも現況を反映していない面もあるが、施設利用の促進と非収益施設の効率的な管理運営の検討が必要と考える。
総合的評価	観光客の動向、天候の影響の受けやすさなどの要因により経営基盤はげい弱であり、施設の老朽化に伴う利用者の減少もあって稼働率は低下傾向にある。施設利用売上の減少と遊休施設の維持管理等の増加により厳しい経営が続いている。



対応策	経営計画4年目を迎え、前期から取り組んでいる諸対策への取り組みと見直しを進めながら、確実に収益に繋がる効率的な収益増加策を検討し、併せて販売費一般管理費の内容を精査してコスト管理に努める。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	住民参加の文化振興事業(涼風祭)に取り組み、木工、陶芸、シルバーアクセサリー教室を開催するなど、設立目的である地域の経済的・文化的な振興と、県有林高度活用事業の主旨に沿った事業展開を行っている。
計画性	第2次経営計画(H23年4月～H28年3月)に基づき、平成23年度から着実に計画を実施している。引き続き、項目ごとの具体的な取組を実施し、数値目標の達成に向けた経営改善に取り組んでいく必要がある。
組織運営の適正性	職員数が6名と少ないため、経営評価算出表による評価指標の改善は難しい面もあるが、第2次経営計画に職員の自主性・創造性を引き出すための具体的な取組を位置づけていることから、着実に計画を実施し、より適正な組織運営に取り組んでいく必要がある。
財務状況	きめ細かなサービスの提供を目指す別荘地管理が基幹事業であることから、収益率は低位にある。平成25年度の経常損益は赤字であるが、2月の豪雪による除雪費用の大幅増や電力料金の値上げが主な原因であり、売上高については前年度並みを確保している。平成25年度末においても、借入金はなく、資本金の3.2倍程度の利益剰余金を確保している。
効率性	常勤役員数を含め、最小限の人員配置であることから、人件費比率等の指標の改善は難しい面もあるが、施設利用率の向上や、管理費のさらなる抑制などについて、第2次経営計画に基づき、改善を進めていく必要がある。
総合的評価	避暑地のレジャー施設であるため、冬期における集客が厳しいことや、天候、景気の影響を受けやすいことなどから、経営基盤はぜい弱である。利用者サービスの向上や施設を活用した事業実施、経費節減などに努め、近年は黒字経営を続けてきたが、昨年度に続き平成25年度についても2月の豪雪による除雪費用の大幅増や電力料金値上げの影響を受け、赤字決算となった。 組織運営や、効率性などに改善が必要な課題があるため、第2次経営計画を着実に実行して経営改善を進め、黒字を確保していく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>A</b></p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>B</b></p> <p>得点率 70%～80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>C</b></p> <p>得点率 60%～70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 20%;"> <p><b>D</b></p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
	<p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業収入が減少したことと、豪雪による除雪費用や光熱費の値上げ等から管理経費が増加したことが主な要因となり、昨年に引き続き経常収支が赤字となった。また、目標とした売上総利益額が確保できなかったことなどもあり目的適合性の得点が下がっている。</li> <li>・他方、借入金や補助金への依存がなく、自己資本比率も65%超を保っており、財務状況は良好である。</li> <li>・引き続き、集客効果の高いイベントの実施などを通じ、施設稼働率の向上や収益増加、経営基盤の強化への取り組みが望まれる。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、施設内の照明をLED電灯へ更新する等により管理費縮減に努めるとともに、集客効果の高いイベントの企画・実施を行っていく中で収益の増加と施設稼働率の向上に取り組んでいく。</li> <li>・取り組みを通じ、清里の森の魅力向上に努めながら経営基盤の強化に引き続き努めていく。</li> </ul>
--